

令和5年度 広島県生活支援体制整備における 多機関合同圏域別意見交換会

高齢者が『なじみの』関係の中で自分らしい暮らしを
続けるために、私たちができること

日 時

令和5年10月18日(水)
13:20~16:40

参加方法

オンライン(Zoom Meeting)

参加費無料
同一端末から複数名
の参加可能!

対 象

生活支援コーディネーター、市町職員、地域包括支援センター職員、県・市町社会福祉協議会職員、県・県保健所(支所)職員、介護支援専門員、広島県地域リハビリテーション推進事業に係る指定施設職員等

①実践報告「元気サロン立ち上げ隊の取組」(三次市)

元気サロンとは、『地域ぐるみで、地域住民自らが元気であるために「週1回」「5人以上」が集まり「体操」を続けていくもの(住民主体の通いの場)』です。多機関で協働して取り組む元気サロンの立ち上げ支援について、社会福祉協議会、医療機関所属のリハビリ専門職、地域包括支援センター、行政それぞれの立場からお話いただきます。

報告者

三次市社会福祉協議会地域福祉課 三次市第1層生活支援コーディネーター 下野段 利恵子 氏
三次市福祉保健部高齢者福祉課 主任 中和 恵理 氏
三次市福祉保健部健康推進課 主査 三田 一美 氏
三次地区医療センター(広島県地域リハビリテーション広域支援センター(備北二次保健医療圏)) 理学療法士 下山 恭史 氏
三次市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 長谷川 忠弘 氏

②実践報告「九丁目サロンの取組や介護支援専門員等との連携」

(広島市安佐南区)

DVD内で紹介した住民主体の通いの場でもある「九丁目サロン」をはじめとし、介護サービス利用や施設入所の高齢者と地域をつなげる支援や地域貢献、多機関との連携について、生活支援コーディネーター、協同組合、介護事業所、介護支援専門員それぞれの立場からお話いただきます。

報告者

広島市東原・祇園東地域包括支援センター 広島市第2層生活支援コーディネーター 清水 史子 氏
広島医療生活協同組合 ふれあいセンター協同 事務長 山本 純司 氏
広島医療生活協同組合 小規模多機能ふれあい協同 管理者 村井 香苗 氏
居宅介護支援事業所 川内の里 介護支援専門員 植田 あけみ 氏

③各圏域での意見交換・発表 (グループワーク)

申込方法は
裏面から!

目的



地域包括ケアシステムの実現に向けた、住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できる地域づくりは、そこで暮らす「生活」を支援していくことから、多様な主体が連携・協働していくことが重要です。

令和4年度に制作した [DVD「高齢者の自立支援に係る研修ツールⅢ『みんなでほっとかん地域をつくろうや～「したいこと」を「なじみの」環境でかなえるために～』](#)の地域等の実践報告を通して多様な主体が連携・協働している事例に学ぶとともに、圏域ごとの参加者で意見交換を行うことにより、顔の見える関係づくり・相互連携の促進、地域包括ケアシステムの充実の一助とします。

DVDについて

高齢者が「なじみの」環境で自分らしい生活を続けられるように支援している生活支援コーディネーターの活動や多様な専門職等と連携している取組事例をまとめたDVDを制作しました。DVDの事例は県内の一部のものを紹介しています。

このDVDやリーフレットは、次のURLまたは右のQRコードよりご覧ください。

また、活用アンケートにご協力ください。



<https://www.chiikihoukatsucare.net/jiritsushien3/index.html>

申込方法

〆切:10月3日(火)17:00

次のURLまたはQRコードより実施要領を確認の上、申込フォームからお申し込みください。

https://www.chiikihoukatsucare.net/p02kensyu_kiji.php?id=130

※同一事業所等から、同一端末で複数名の方でご参加可能ですが、
申込は各自でお願いします。

※本研修は、一般社団法人広島県介護支援専門員協会の生涯学習(研修単位認定)制度「D-3-5」に申請予定です。



問合せ先

広島県地域包括ケア推進センター

(石川・田中・藤原)

☎082-569-6493

✉hokatsu-kensyu@hiroshima-hm.or.jp